

Profile

- 生まれ／1999年9月18日、大越町
- 身長／172㍑
- ポジション／シューティングガード
- コートネーム／AKO
- バスケ歴／大越ミニバス(兄の影響で小1からバスケットを始める)→大越中(3年時：県ジュニアオールスター選出など)→郡山商業高校進学(3年時：インターハイ、ウィンターカップ出場など)→筑波大学(1年時：関東大学選手権大会優勝・新人賞、4年時：同大会で準優勝・敢闘賞など)→ENEOS サンフラワーズ
- 恩師／舞木和弘さん(大越ミニバス団長)
理由：一からバスケットを教えてくれた。舞木さんの基礎練習、バスケットの考え方がなければ今はなかった。
- 好きな食べ物／ヨーグルト
- 座右の銘／挑戦することで初めて見えてくる世界がある



- 3 田村市長任期の折り返しを迎えて
- 4 おひさまドーム OPEN
- 6 **特集** challenger
「3年間で培った絆で挑む、インターハイ出場の道」
- 12 海を越えて 英語指導助手ペンリレー
- 15 地域おこし協力隊奮闘記
- 16 田村市の文化財「^{しんぼく}神木」
- 19 ほっとニュース
- 24 船高便り
- 26 ほけんだより
- 28 暮らしの情報案内板
- 34 各施設の催しなど



写真提供：ENEOSサンフラワーズ

ENEOS Sunflowers

国内女子バスケットの最高峰で得た経験とは

大越町出身の佐藤由佳さんは、2022年4月から女子バスケットボールチームENEOSサンフラワーズ(以下、ENEOS)でバスケットボール選手として活躍しています。チームは、第24回Wリーグ優勝(4年ぶり23回目※日本リーグを含む)と2022-23シーズン二冠(Wリーグ・皇后杯)を達成し、熱い戦いを見せてくれました。バスケットボール選手の世界に挑戦し、初シーズンを終えた今、佐藤選手が思うこととは一。

私がバスケットで大事にしていることは「頭を使って、意味があるプレーをすること」です。そのためには、とにかく「しゃべること」を意識しています。チームメイトと会話

量を増やし「この選手はどんなプレーが得意で、どんなパスをどの位置に出すとシュートを打ちやすいか」など、相手を理解することで得点につなげていきます。

来シーズンは、自分自身の課題にしっかり向き合い、もっと自分を表現していきたいと思えます。自分の殻を破ることでまた別の世界を見ていきたいです。そして、ENEOSの一員として、見ている人を勇気づけられる活動をしていきたいので、ぜひ試合を見てくれたらうれしいです。

シーズン1年目を振り返って

市の募集・申請に関する各記事の共通事項

問問い合わせ 申申し込み先
市への申込・書類提出について明記していないものは、期間中の土・日・祝日を除く午前8時30分から午後5時15分まで



大越ミニバスに凱旋